

2. 全国的な学力調査の実施（概要）

全国的な学力調査の実施

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、
国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る
- 学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

令和5年度調査の実施等

【本体調査：悉皆調査】

調査日：令和5年4月18日（火）

調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒

調査事項：①教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

※英語「話すこと」調査については、1人1台端末等を用いたオンライン方式により実施。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒／学校）

※学校質問紙は全ての学校で、児童生徒質問紙は約80万人を対象として、
オンラインによる回答方式で実施。

【専門家による追加分析調査】

国、教育委員会、学校における教育施策や教育指導の一層の改善を図るため、学力調査を活用し、大学等の研究機関の専門的な知見を活用した高度な分析・検証に関する調査研究を実施。

令和6年度調査の実施（予定）

調査日：令和6年4月18日（木）

調査対象：小学校第6学年・中学校第3学年の全児童生徒（悉皆調査）

調査事項：①教科に関する調査（国語、算数・数学）

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒／学校）

※経年変化分析調査（国語、算数・数学、英語（中学校））及び保護者に関する調査を、
抽出方式で実施予定。